

手スキの必需品「フレンチエッジャー」3種類を新発売

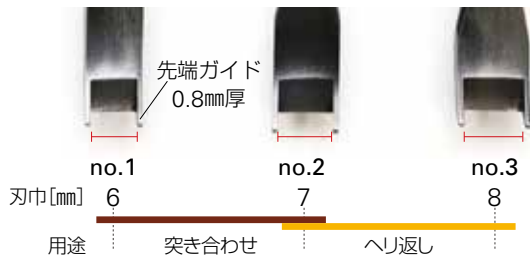


▲手仕上げで1本ずつ刃付け & 焼入れ加工済で抜群の切れ味と耐久性。made in JAPAN

SEIWAは2018年10月上旬、革の床面（裏面）を薄くする工具「フレンチエッジャー」を新発売します。本品は、ヘリの厚みを抑え、より上質な仕立てを目指すクラフターにおすすめしたい工具で、「つき合わせ」や「へり返し」の仕立てに最適です。

先端の幅は、no.1 [6mm 巾]、no.2 [7mm 巾]、no.3 [8mm 巾] の3種類をラインナップします。価格は各2,300円（税別）です。

〈商品特徴〉

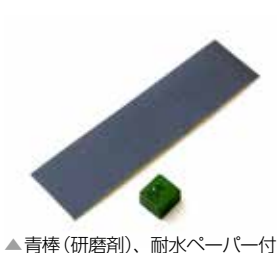


つき合わせ
no.2使用

コバがスッキリ
仕上がります



へり返し
no.3使用



▲青棒（研磨剤）、耐水ペーパー付



革の床面に付属の青棒を塗り、その上で刃先を優しく引いて研ぎます。刃こぼれした際は、付属の耐水ペーパーに水をつけ、刃先を引いて研ぎます。その後青棒で研ぎます。

1. 革のへり(端)を薄く削り、上質な仕立てを実現

革を縫い合わせる時、端とその他の部分を同じ厚さのまま仕立ててしまうと、少々厚ぼったく見えてしまいがちです。特に「へり返し」をしてからの縫い合わせや「つき合わせ」での仕立て時に、フレンチエッジャーで床面を薄く削り落としてから仕立てることで、すっきりとした仕上がりになります。

2. 端から一定の巾で薄く削げる

従来品のペディなど、湾曲した刃で削る場合、まっすぐ均一に削ぐことはとても難しいことです。本品は、先端のガイド部分を革の端に添えて削ぐことで、均一な巾に削げます。先端ガイドは0.8mmと薄く仕上げられているので、革に引っかかることもありません。

3. 仕立てによって3種類の巾を使い分け

突き合わせは、no.1 [6mm] または no.2 [7mm] を、へり返しで広い巾を削ぐ場合は、no.3 [8mm] または no.2 [7mm] がおすすめです（上図参照）。

4. メンテナンスで切れ味復活。長く使える愛用品に

本品は切れ味が鈍ってきた時のために、研磨剤「青棒」と刃が欠けた時の再研磨用に「耐水ペーパー（1000番程度）」が付属します。不要な革に青棒を塗り広げ、ミン油を数滴垂らし、刃先を優しく研磨することで、長くお使いいただけます。

※強く押し当てると刃先が痛みます。耐水ペーパーは、刃先の欠け等へのみ、お使いください。普段のお手入れは、青棒での研磨の繰り返しでお使いください。

French Edger フレンチエッジャー

革の端を一定幅で薄く削ぎ落とす

価格：各¥2,300円（税別）

no.1 [6mm巾]	JAN : 4560263318299
no.2 [7mm巾]	JAN : 4560263318305
no.3 [8mm巾]	JAN : 4560263318312